

広報

ふじ

NO. 127

48.1.25 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



「ともだち」吉永第一小学校二の四もちづきのぼる

市議会12月定例会

市議会12月定例会が12月14日から23日まで開かれ、昭和46年度一般会計決算認定(3、4面に掲載)昭和47年度一般会計補正予算、市立幼稚園保育料徴収条例など46議案を慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。

47年度一般会計補正などを審議

一般会計の総額は 103億852万円に

昭和47年度の一般会計予算は、歳入歳出にそれぞれ1億7800万円を追加したので、予算の総額は103億852万円になりました。

補正したおもなものは、歳入で市税1億円、県支出金1805万円、諸収入1048万円、市債4730万円などで、国庫支出金は2001万円の減額となりました。歳出は民生費1億4963万円、衛生費1億2678万円、土木費1億2003万円、教育費1億4099万円などに補正しましたが、予備費から4億

8545万円をあてました。

総務費の補正額は7334万円で、厚原小学校の通学路整備を1300万円で行ないます。

衛生費は1億2678万円。病院の事業会計へ補助金7000万円、呼吸器疾患の調査を228万円で行ないます。

土木費は1億2003万円で、おもなものは住吉児童公園の用地購入と造成、富士川緑地造成工事などを6880万円で、天間団地の用地購入と公営住宅の建設3212万円です。

市税条例が一部改正され、都市計画税の課税区域が変わりました。これまで都市計画税は、都市計画法によつて都市計画区域内に課税されていました。しかし

都市計画法が改正され市街化区域の公示にともない、1月1日から市街化区域内の土地や家屋に課税されることになりました。従つて、市街化調整区域には都市計画税が課税されません。

就園奨励費を支給

市立幼稚園保育料徴収 条例を制定しました

市立幼稚園の保育料徴収について必要な事項を定めた条例が制定されました。

幼稚園の保育料は、園児1人につき1カ月1000円ですが、夏休みや臨時に閉鎖した期間が20日以上となつた月は無料となります。保育料は毎月5日までに納めていただきますが、園児が病気などの理由で、1カ月の出席すべき全日数を欠席したときや保護者が生活保護法の適用を受けているときは、保護者の申請によつて保育料は免除されます。

また就園奨励費が支給されることになりました。就園奨励費は、保護者の世帯が市民税の所得割額を納めなくてもよい場合は年額1万円、保護者の世帯が納める市民税の所得割額が1万円以下の場合には年額5000円で、それぞれ保育料が減額されます。なお、対象となるのは6月1日現在在園している場合で、4月1日現在に4才または5才の幼児です。



市立幼稚園に通園している低所得世帯の園児に就園奨励費を支給します

昭和48年をむかえて



市議会議長

佐野喜郎

希望あふれる新春を迎え、市民みなさまのご幸福とご繁栄を、心からお祈り申し上げます。

わたくしは、昨年6月、はからずも議長の大任についてから、微力ながら円滑な議会運営と市政の伸展を期し、鋭意の努力を傾けてまいりました。おかげをもちまして大過なく越年することができました。これもひとえに市民各位のご支援とご協力の賜と心から感謝申し上げます。

顧みますれば、昭和41年に新市が発足してから6年余、当富士市は人口が急増し、産業の膨張は著しく、都市化が急速にすすんでいます。しかしながら、市民生活の安定、福祉の増進をは

かるためには、まだまだ多くの問題があります。とくに公害、交通安全対策を中心に、教育行政、土木行政、都市計画による町づくり、老人問題を含む福祉行政などの諸施策を講じなければなりません。

昭和48年こそは富士市のより一層の発展飛躍が期待されます。19万市民の願いである「明るく住みよい調和のとれた町づくりをめざし、われわれ富士市議会も最善の努力をしてまいります。なにとぞ、倍旧のご指導とごべんたつをお願い申し上げます。

市民プール6月完成

5月の完成を目ざし、市民プールの起工式が1月10日、現地で行なわれました。建設地は潤井川右岸の五味島地先で、面積は11,936平方メートル。ここに大小4つのプールを造ります。4つのプールは、流水プール、子どもプールなどで、プール全体の面積は2224平方メートルです。

流水プールは、一番大きく1周250メートル

あります。プール幅は7メートル、深さ1メートル、面積が1523平方メートルです。

競泳プールは、長さ25メートル、幅12メートルで6コースとれます。深さは1.1メートルから1.2メートルで面積が300メートルです。

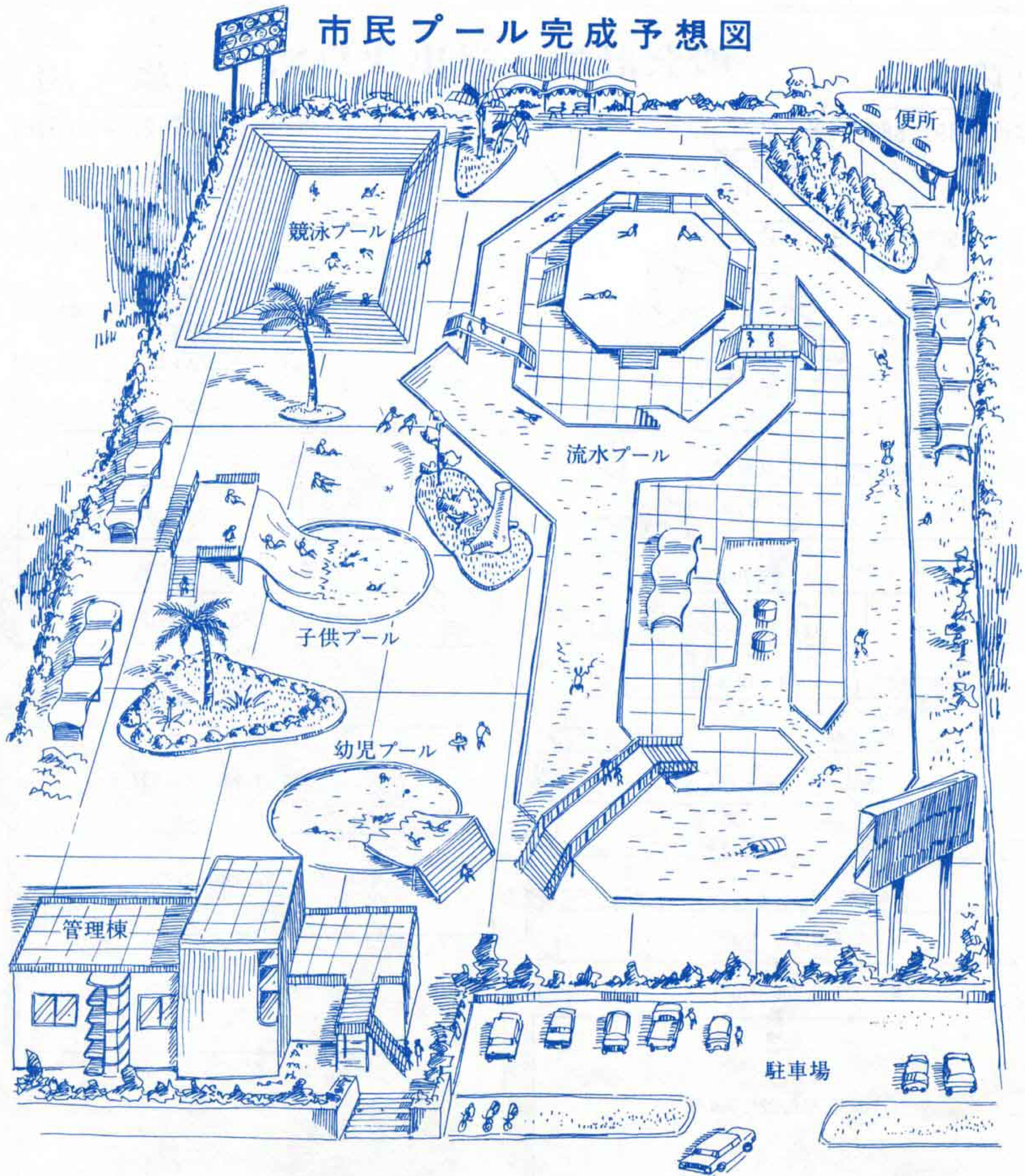
子どもプールは、変型の卵型でスベリ台がついています。直径は20メートルから11メートルで、深さは0.5メートルから0.6メートル、面積が189

平方メートルです。

幼児プールは、円形でスベリ台がついています。直径は15メートル、深さは0.3メートルから0.4メートルで、面積は217平方メートルです。

なお、市民プールの使用方法は、6月のオープンまでには決まりますので、決定しだいお知らせいたします。

市民プール完成予想図



昭和46年度決算

昭和46年度の一般会計と各特別会計の決算が、市議会12月定例会で承認されました。一般会計の歳入決算額は98億9188万2759円、歳出決算額は87億9218万6087円でした。なお、特別会計は国民健康保険、駐車場事業など17会計で、歳入決算額は22億1936万3940円、歳出決算額は20億7156万8167円でした。

みなさんの

富士市の財政は昭和46年度も黒字決算でした。一般会計の歳入歳出の差引き残額は10億9969万6672円で、昭和47年度へ繰り越しました。前年度の対比も歳入が22億7168万2158円ふえて29.8%のアップを示し、歳出も14億

8767万252円と20.4%の伸びを示しています。特別会計の差し引き残額は1億4779万5773円で、昭和46年度へ繰り越しました。なお昭和47年度に実施した主な事業は次のとおりです。

総務費

交差点の改良やセンターポールの設置など交通安全対策事業に4818万3200円、

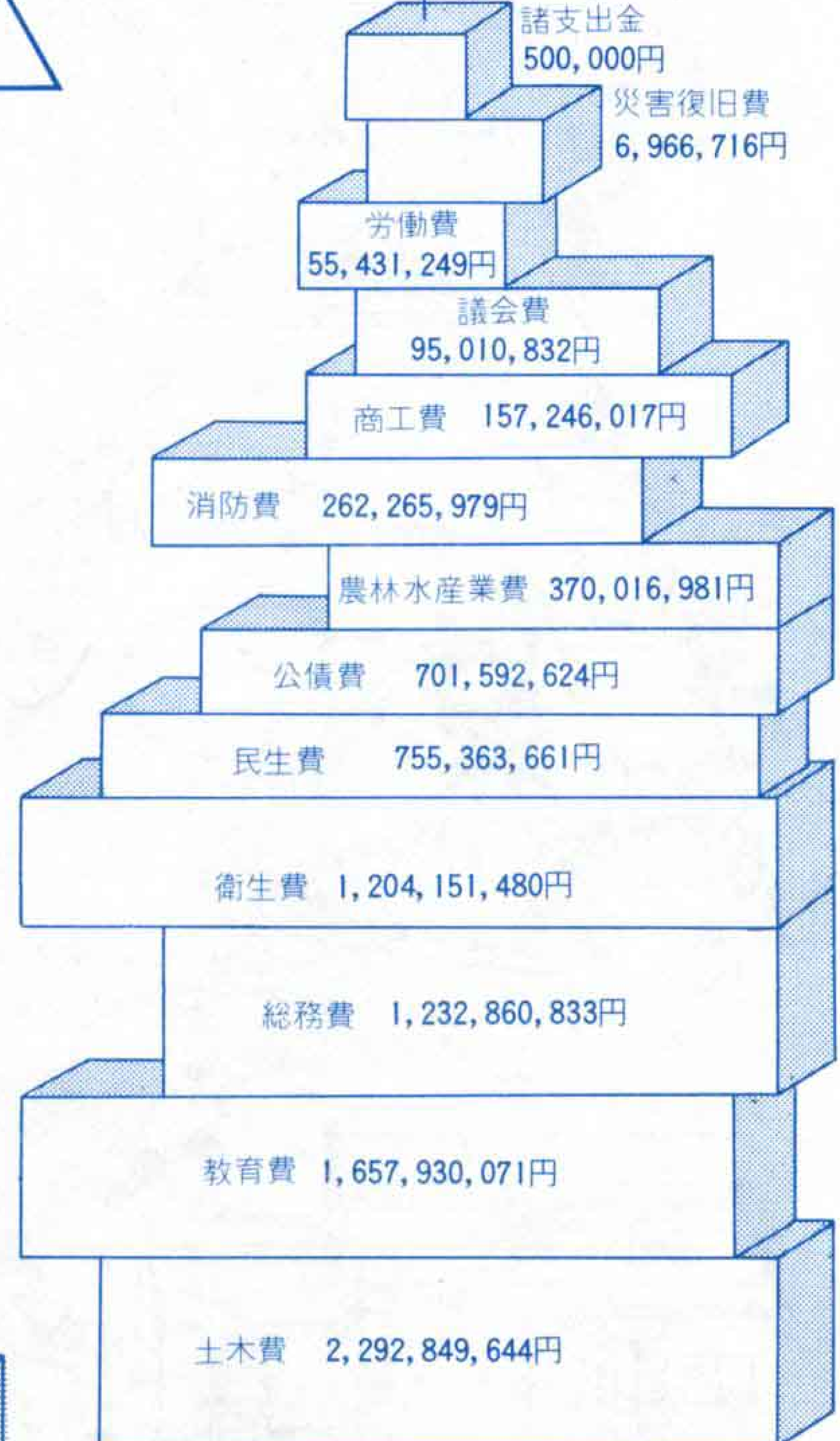
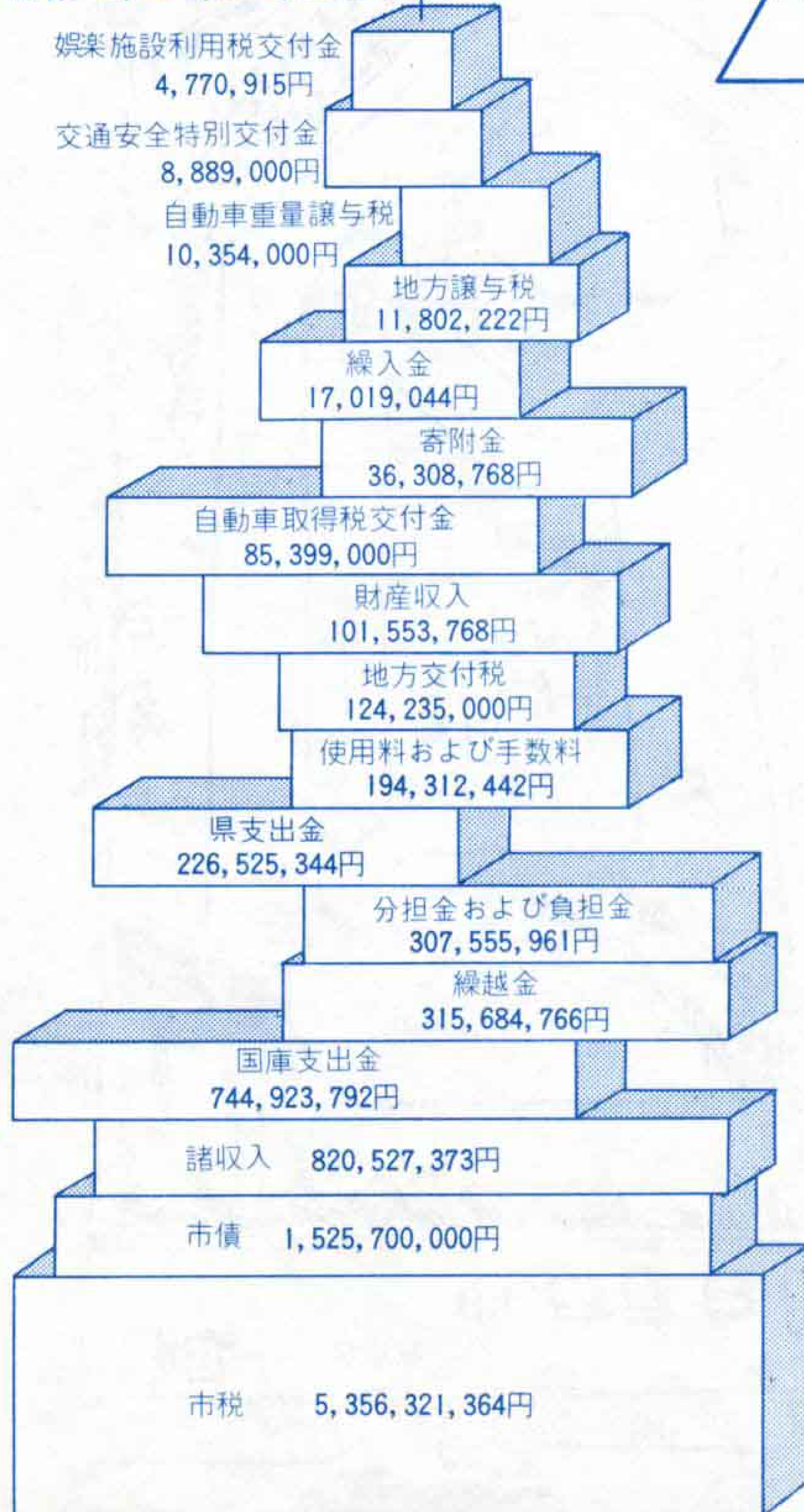
歳入

一般会計歳入歳出決算額

歳出

合計 9,891,882,759円

合計 8,792,186,087円



税金はこのように

広報無線局新設に860万円などでした。

民生費

社会福祉センターの建設を3717万9180万円、第1保育園の増改築を3438万7915円、市民会館と文化センターの整備を357万円で行ないました。

衛生費

第1清掃作業所の焼却炉増設工事を昭和45年から3カ年の継続事業で実施しましたが、昭和46年度の事業費は2億4953万4520円で焼却炉の工事などを行ないました。公害対策費は1889万円で、テレメーター室空調設備工事、公害測定備品の購入、共同公害防止施設への補助などを行ないました。

農林水産業費

浮島水源の整備や旭町排水路整備などを1824万2570円、今宮と岩本の農免農道

の整備を2687万2500円で行ないました。丸火の自然公園造成事業は2400万円で、林間園地の造成や遊歩道、管理道の改良工事を行ないました。

土木費

土木費は22億9284万9644円。市道の新設改良を3億7833万3719円で行ないました。都市計画街路事業に5億288万2262円富士駅周辺の土地区画整理などを1億9564万5006円で行ないました。広見公園などの整備を1億3538万3160円で行ないました。三ツ沢や吉原団地に公営住宅128戸の建設、公営住宅用地の購入などを3億2834万3993円で行ないました。

教育費

小学校の建設費は4億936万9745円で、広見小学校の新築や大淵第1小、富士第2小などの改築などを行ないました。

中学校の建設費は2億9834万5145円で、

岩松中学校の改築や吉原第3中学校のプール建設などを実施しました。

幼稚園の建設費は8355万2710円で、天間幼稚園の新築や岩松幼稚園、南幼稚園の増改築などを行ないました。

このほか、富士北公民館や柔剣道場の新築などを2356万260円で行ないました

公有財産

土地	46,632,946㎡
建物	306,504㎡
立木	135,854㎡
有価証券	11,583,000円
出資による権利	8,360,000円
債券	49,806,000円

基金

職員福利厚生基金	35,748,874円
国民健康保険診療報酬支払準備基金	6,027,119円
内山基金	11,306,378円
島崎敬老基金	500,000円
佐野敬老基金	1,000,000円
斉藤育英奨学基金	2,000,000円
合併記念公園建設基金	12,447,022円
富士市土地開発基金	135,000,000円

特別会計歳入歳出決算

単位円

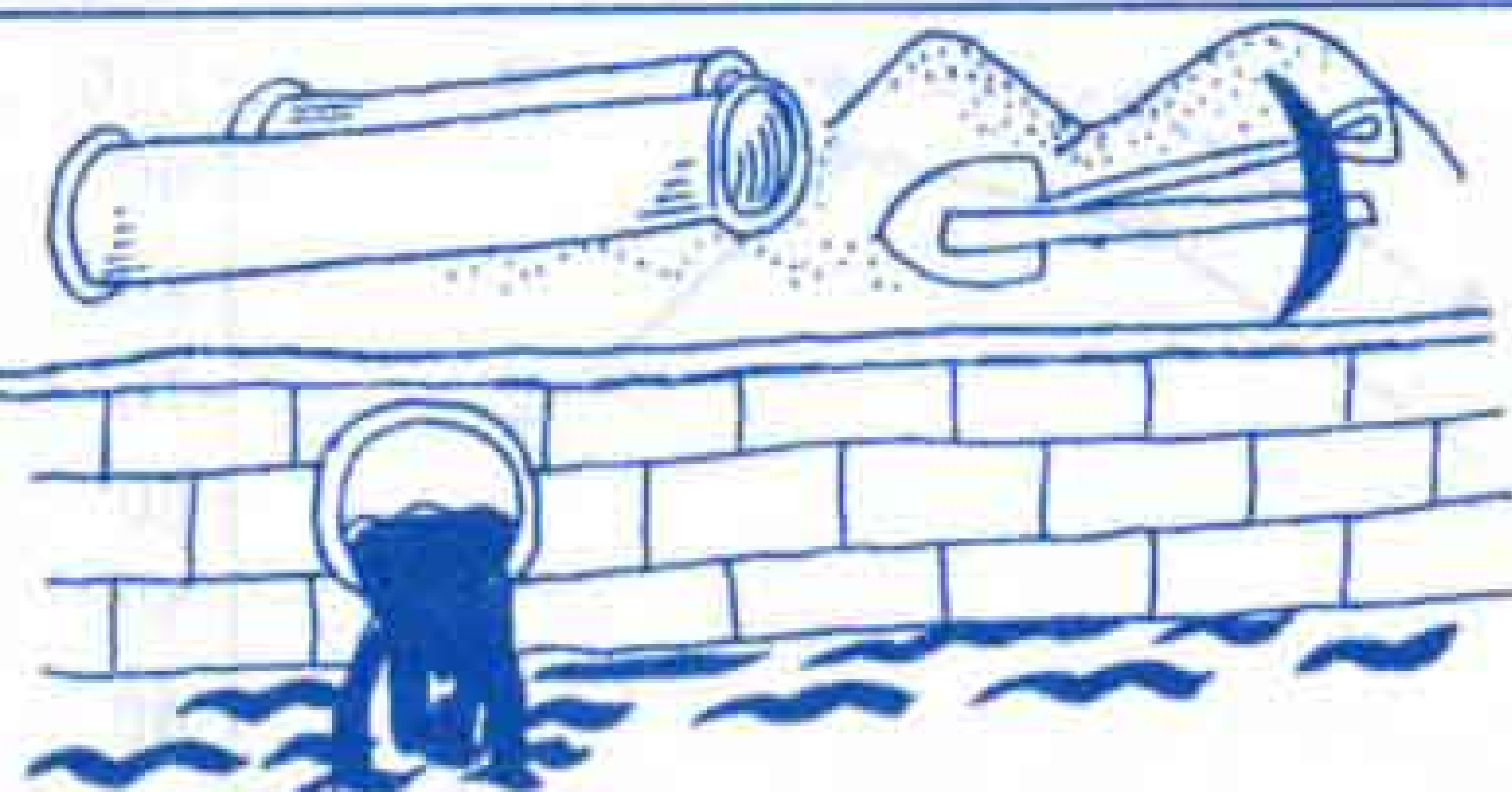


国民健康保険事業

歳入 891,449,980 歳出 815,854,912



内 山	歳入 35,510,635	歳出 32,726,440
旧 吉 原	歳入 1,500,958	歳出 1,500,000
旧 島 田	歳入 1,599,952	歳出 800,000
旧 今 泉	歳入 31,317,876	歳出 9,249,945
旧今泉・一色		
神 戸・今 宮	歳入 7,280,583	歳出 78,414
旧 元 吉 原	歳入 2,298,972	歳出 1,310,000
旧 須 津	歳入 2,167,305	歳出 922,852
旧 吉 永	歳入 9,191,418	歳出 5,364,913
旧 原 田	歳入 6,451,976	歳出 1,624,699



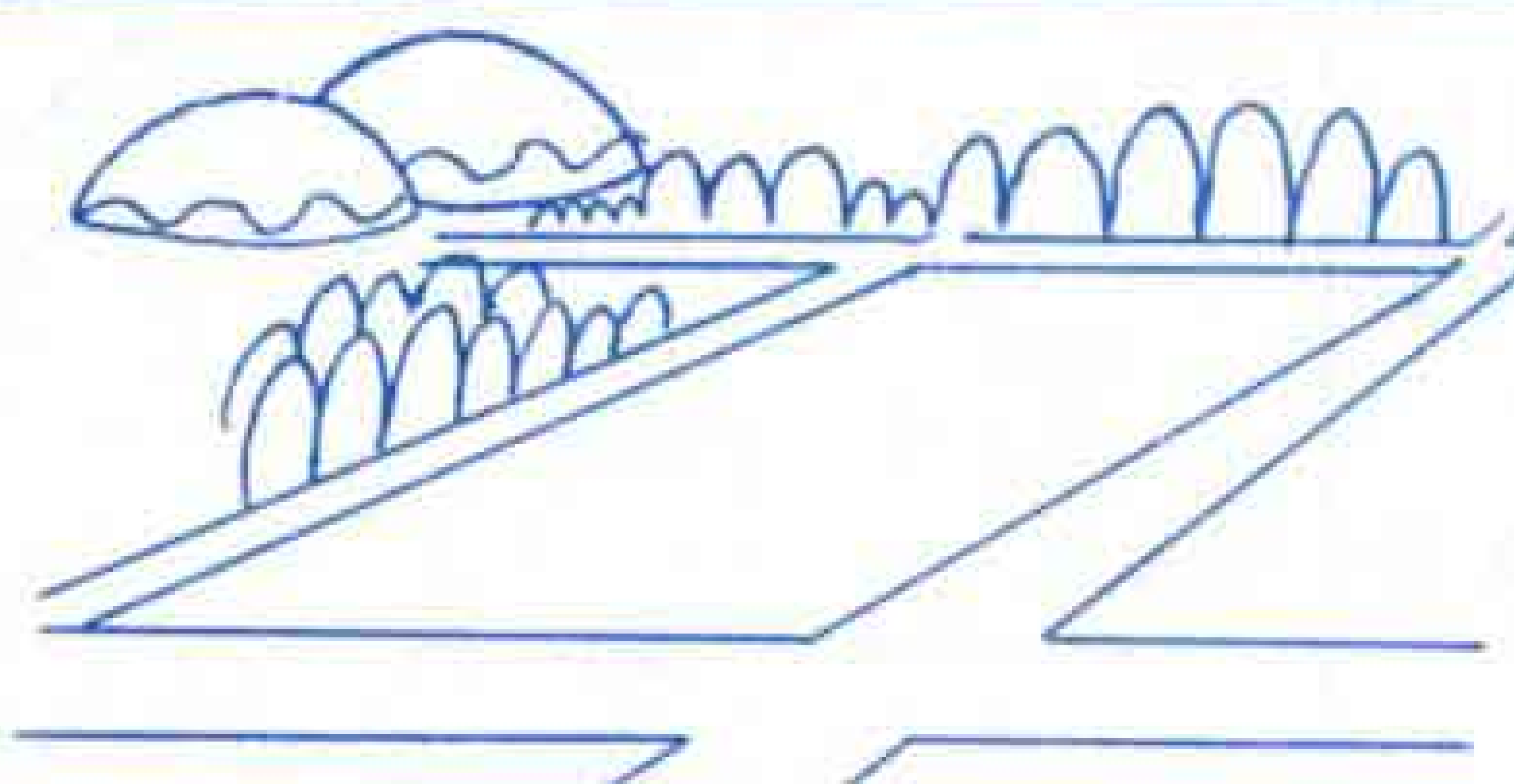
下水道事業

歳入 304,901,772 歳出 299,151,304



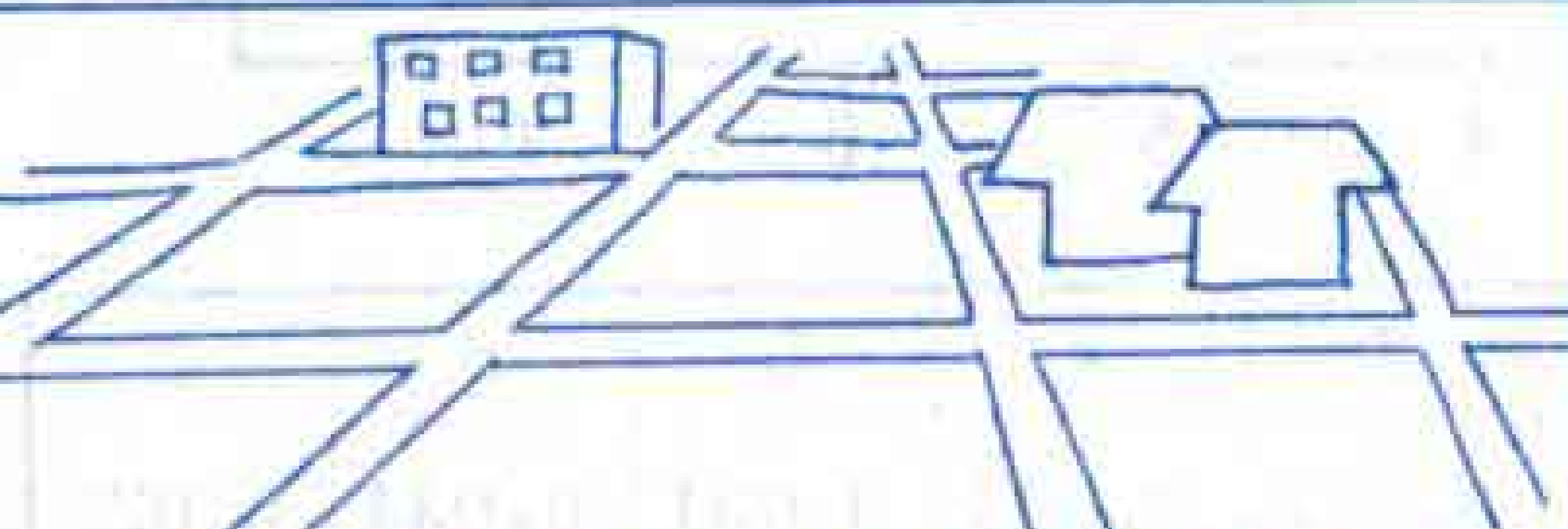
学校給食事業

歳入 40,256,969 歳出 39,236,646



公共用地先行取得事業

歳入 567,095,499 歳出 554,752,222



青島津田土地区画整理事業

歳入 41,253,202

歳出 37,799,292

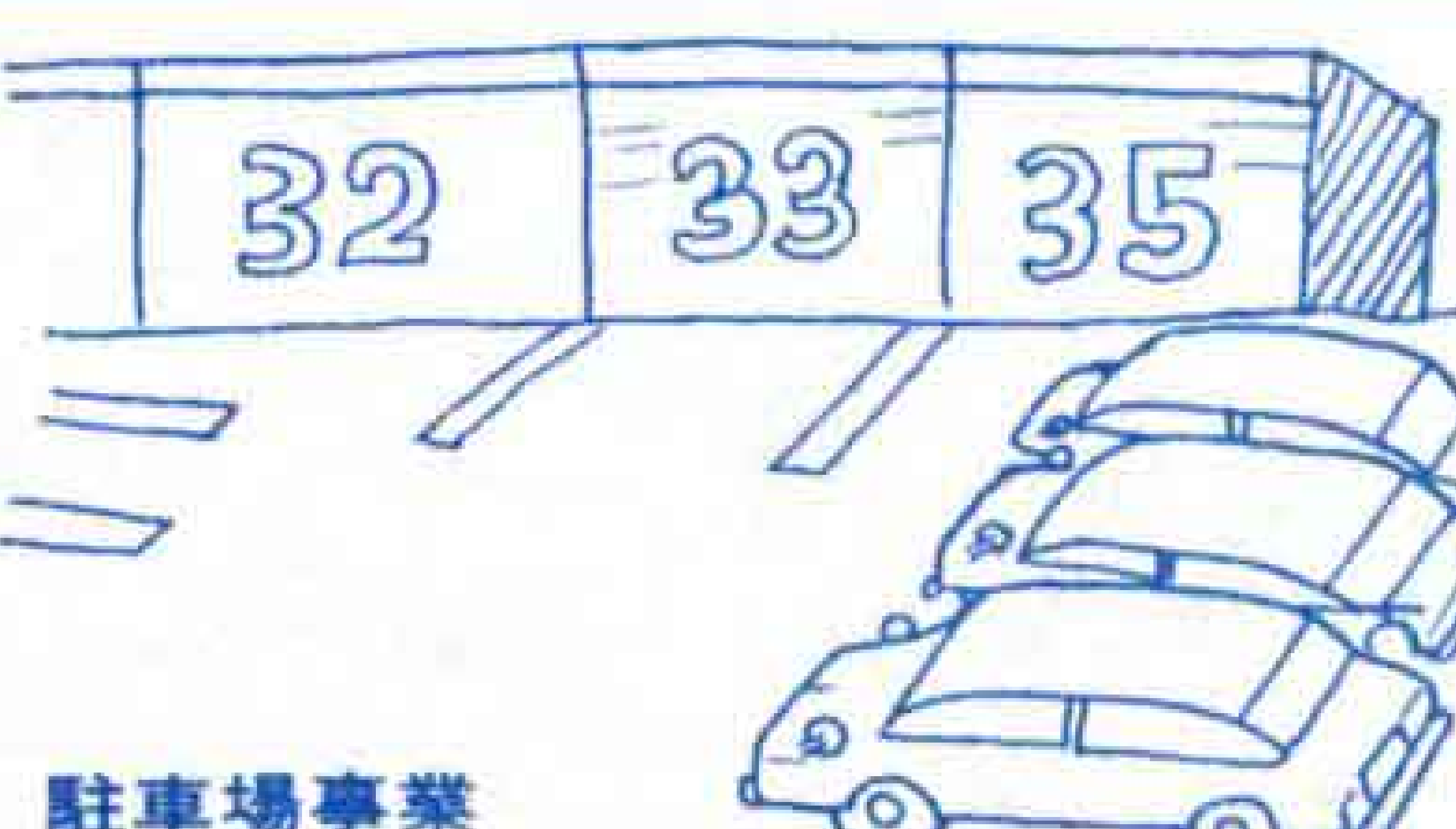
依田原新田土地区画整理事業

歳入 251,978,738 歳出 251,149,027



魚市場事業

歳入 4,576,937 歳出 1,844,602



駐車場事業

歳入 20,531,168 歳出 18,202,899

47.12.27



48.1.1



48.1.6



1月2日の

8測点の平均は0.01 P P m

イオウ酸化物の削減計画の一環として、昭和44年から年末年始の汚染状況をは握するため、調査を行なってきました。今回の調査で47年12月26日から48年1月7日までの資料がまとまりましたのでお知らせします。

年末年始 のイオウ酸化物の 測定結果

大気汚染のうち、イオウ酸化物については、総排出量を減少させ、47年4月に市公害対策審議会から答申された望ましい環境目標値0.03 P P mを達成するため、いろいろな行政指導を行なっています。そのためには、どのくらいの排出量にしなければならないか試算しなければなりません。そこで、過去の測定資料、工場の排出量、重油の使用量などの細かい解析を行ない、現在、市内で許される

最大排出量を試算しています。

この一環として、昭和44年からほとんどの企業が操業を停止する年末年始の状況を調査しています。今回も47年12月26日から48年1月7日まで、大手66工場を対象に調査しました。

※大手工場＝市内には法律の対象事業所は200ありますが、5トン以上のボイラーをもっている66工場の重油使用量が全体の約90%を占めています。

三ガ日の最低は

0.002 P P m 富士保健所

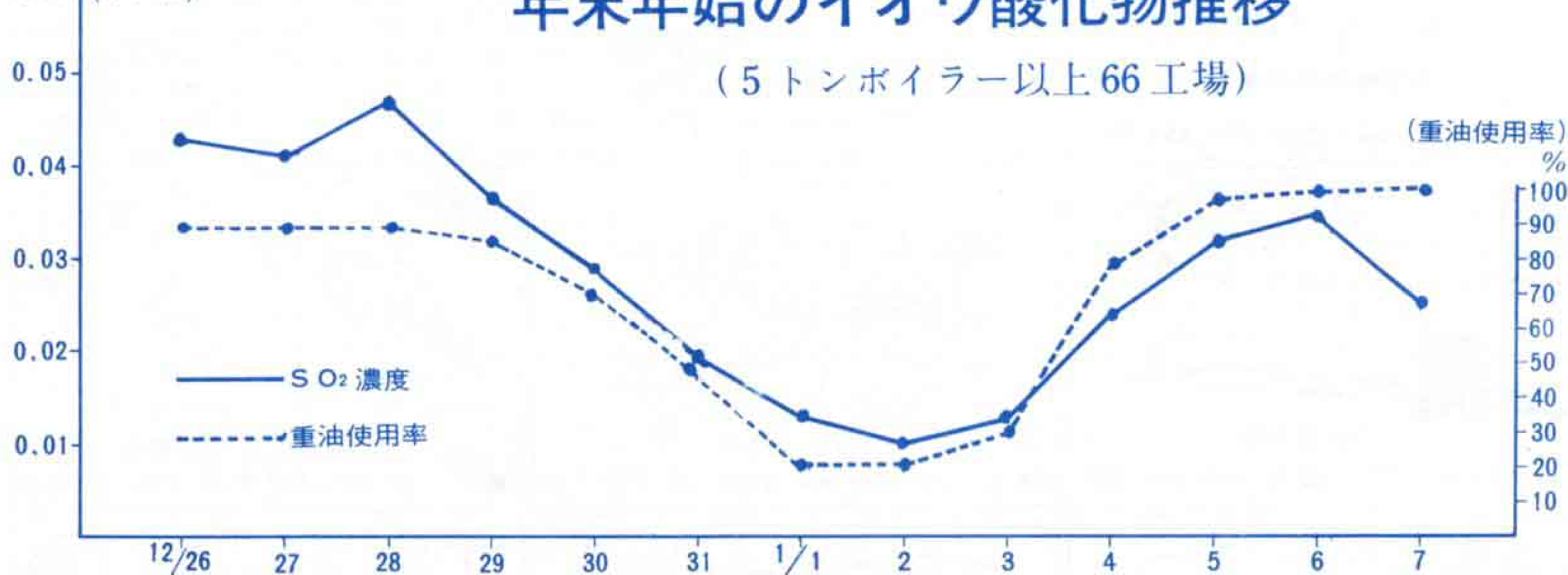
調査結果をみると常時使用量(3899ト

ン)を100とした場合、1月2日は約20% (780トン)の使用量で汚染も0.015 P P mを下回る数値が測定されています。

なお今回の調査で特に目立つのは、いつも高濃度が出現する富士保健所が、正月三ケ日は最高が0.005 P P m、最低は0.002 P P m、とひと桁違いの低濃度が測定されたことです。この時期における市内の平均は0.013 P P mくらいでした。これをみても市内の大気がいかに汚染されているかがわかります。

期間中の重油使用量、汚染状況などくわしくは下図のとおりですが、これらの資料は住みよい環境づくりの基礎資料にしていきます。

SO₂ 濃度
(P P m)



年 月 日	12/26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7
SO ₂ 濃度平均値 市内8測点(PPm)	0.043	0.041	0.044	0.034	0.027	0.019	0.013	0.010	0.012	0.023	0.031	0.034	0.025
重油使用量(通常) (トン)	3.899	3.899	3.899	3.764	3.055	2.056	777	780	1.266	3.091	3.801	3.896	3.899
使用率(%)	100	100	100	96.5	78.4	52.7	20.0	20.0	33.1	79.3	97.5	99.7	100

※1日の重油使用量3.899トンを100%とする

＝商業統計調査＝

年間販売額は1205億654万円

商業統計調査を昨年5月1日現在で実施しましたが、富士市の調査結果がこのほどまとまりましたのでお知らせします。

商店数は3,706店、従業者数14,716人、年間販売額1205億654万円となりました。前回調査した昭和45年に比較すると、商店数では6.4%、従業者数で9.5%、年間販売額で27.4%の伸びとなり、工業の発展とともに順調な推移を示しています。

商店数は3,706店で、昭和37年の2,868店と比較すると29.2% 838店の増加となっています。このうち卸売業は376店、小売業が3,330店です。また商店の経営形態も個人商店の占める割合は依然として高くなっています。これを卸売業、小売業に分けて法人化を見ると卸売業は54%とほぼ半数が法人化され、近代化が進んでいるのに比べ、小売業は13.9%にとどまっています。業種別商店数では、飲食料品小売業が1,160店で31.3%と最も高く、ついで飲食店が813店で21.9%、その他の小売業1,608店で16.4%、卸売業374店で10.1%となっています。商店別の伸び率は前回の調査に比べると自動車

自転車小売業が17.3%、飲食店が14.5%増加しています。

従業者数は14,716人で、前回調査の13,440人に比べ1,276人多く9.5%増加しました。また昭和37年は8,899人ですから、5,917人、65.4%の増加となりました。業種別の従業者数は飲食料品小売業3,518人、卸売業3,127人、飲食店2,390人などで、いずれも従業者数は増えていますが、織物、衣服、身のまわり品小売業は1,360人と前回の1,457人に比べ97人減少しました。1商店当りの従業者数は、平均で4人と前回より0.1人増加しました。業種別で平均を上回っているものは、卸売業の8.4人、自動車、自転車小売業の7人です。

年間販売額は1,205億654万円、前回の945億7,925万円に比べ259億2,729万円と27.4%増加しました。昭和37年は286億9,116万円ですから、918億1,538万円、4、

2倍となりました。業種別の販売額は卸売業が596億6,942万円、飲食料品小売業165億5,901万円、その他の小売業149億4,802万円、自動車、自転車小売業107億3,971万円などです。従業者1人当りの年間販売額は平均819万円で、前回は704万円ですから16.3%の増加となりました。平均を上回った業種は、卸売業の1,908万円、自動車、自転車小売業の1,189万円とわずか2業種にすぎませんでした。



市の花「バラ」は多くの人に 사랑 받으며、情熱を表わすひとつの表現としても使われています。最初は大きな花が咲いても、手入れをしないと次第に花が小さくなってしまったり、病気に

にかかりやすくなります。バラづくりの方法を1月から12月までの1年間に分けてみましたので、消毒やせんていなど時期に合った手入れを行ない、きれいな花を咲かせてください。

管 理		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ウ ド ン コ 病			葉が小麦粉をふりかけたように白くなる病気。 石灰硫黄合剤200倍を散布する											
ク ロ ホ シ 病			葉が紫黒色～褐色のシミを生じ、しだいに放射状に広がり黄変し落葉する。 石灰硫黄剤の500倍を散布する											
チュウレンジハバチ			黄緑色をした18mmの黒色の虫が群棲して葉を食べる。 マラソン乳剤1,000倍を散布する											
薬 剤	石 灰 硫 黄 合 剤 ダイセン等殺菌剤 マラソン等殺虫剤		← 10倍 1 回 →		← 200倍 1 回 →		← 500倍液を 1 回 →		← 1000倍液を 1 回 →		3	2	3	
				1					2 回	"				
肥 料	施 追 肥 マ ル チ ン グ 酸土→アルカリ土		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
植 え 付 け			→ 移植(苗) ←		← (1 年 生 苗 木) →						← (2 年 生 苗 木) →			
せ ん 定			○											

※マルチングとは寒さ暑さを防止するため、牛ふん・敷わら・鶏ふん等を根本の回りに施す。

追肥とは配合、化成等の肥料を水で薄めて与える。

市政モニター提言



市立保育園をもっと充実して

私立の保育園の月謝の高いことは若いお母さんたちの悩みの種のようなのです。

三島市は市立の保育園が大変完備していて、高い費用がかからずすむときいています。富士市ももつと保育園の園児数をふやして、多くの子どもを保育するように出来ないものでしょうか。

ある保育園は、入学の際に入学金の外

に祝儀というものを今でも集めています。およそ前近代的な祝儀。市外から引越してきた人の目にはとても奇異にうつるようです。7年くらい前に市内の小学校でやはり祝儀をとって、新聞の社会欄のトッ



【幼児の教育施設にもっと力を入れてほしい】

プで報道され、市民として大変はずかしい思いをしたことがあります。今でもそれをしている保育園。市立と私立の違いはあるにしても、市立の幼児教育機関がもつと充実したらそのようなことはなくなるのではないのでしょうか。

(浅井和子・依田橋)

ひとこと

市にぜん息専門の病院を設置して

小児ぜん息にかかった3才の子どもがいます。夜中にぜいぜい苦しがつたりした時など、市にぜん息児専門の病院があつたらと思います。公害都市である以上

大気汚染がなくなる限り患者は増えるでしょうし、ぜひ専門の病院を設置してください。また、小児ぜん息の場合、アレルギーと重要な関係があるとのこと。そのためアレルギーの反応検査を受けたいのですが、静岡日赤でしか取り扱ってくれません。しかし、患者が多すぎて日赤でも当分受けしなそうで困っています。どうぞ健康第1を市政目標にしてくださるようお願い致します。

(白井孝子・柚木)

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。急病のときにご利用ください。

■2月4日

外科 米山病院(吉原4 52-3060)
吉田医院(石坂 51-2515)
産婦人科 棚山医院(厚原 71-4771)

■2月11日

外科 中央病院(本市場4区61-8800)
井上医院(富士見町 52-0988)
産婦人科 望月医院(西比奈34-0445)

■2月18日

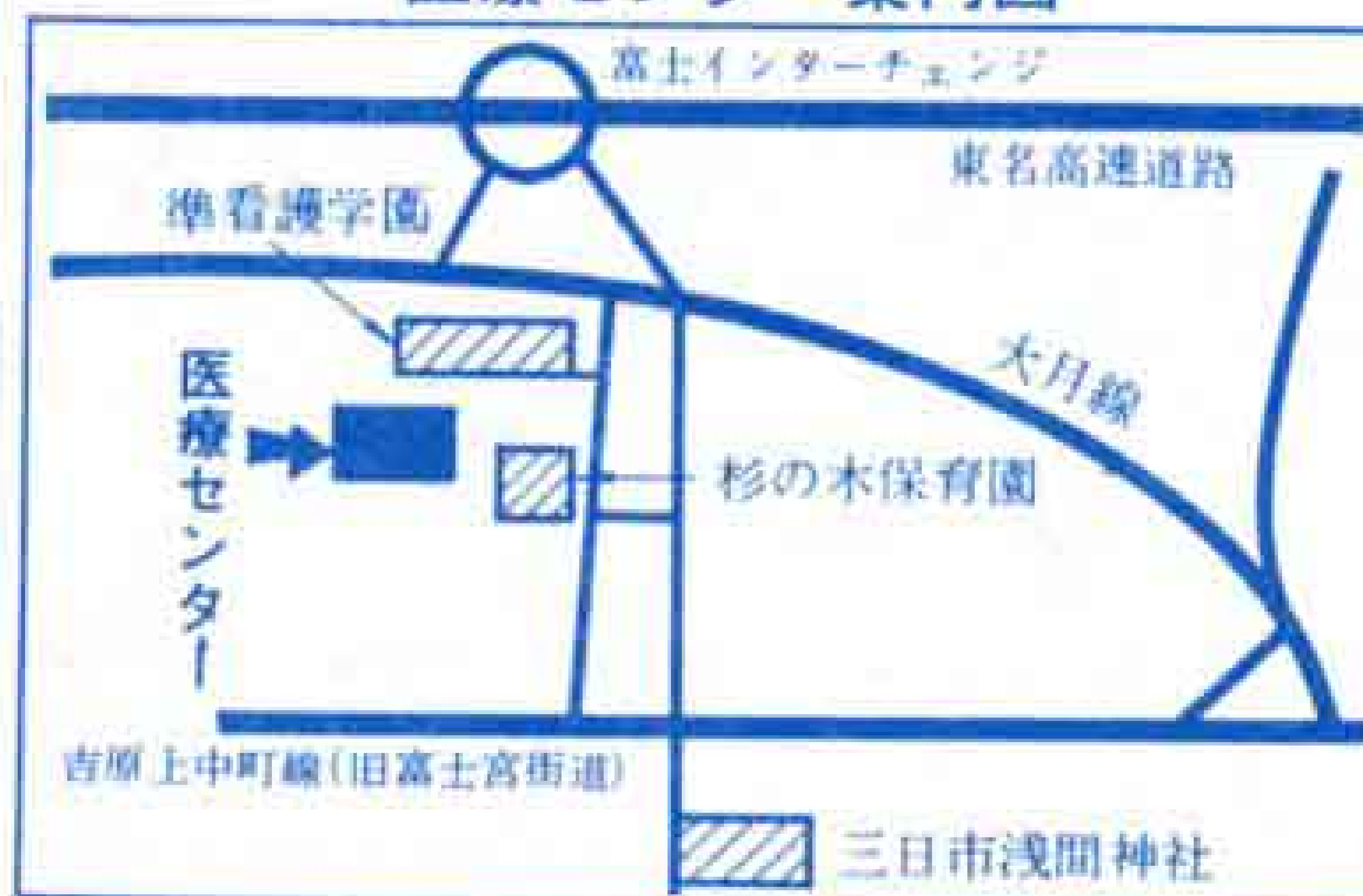
外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
川村医院(富士中島 61-4050)
産婦人科 谷医院(平垣八幡61-0039)

■2月25日

外科 吉原病院(南町 52-0780)
鈴木医院(宇東川3 52-2213)
産婦人科 鈴木医院(今泉1 52-1712)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。

件数 246件

(11月までに2298件)

死者 3人

(11月までに28人)

負傷者 93人

(11月までに1225人)



十二月の火災・交通事故件数



3件発生

(11月までに78件)

損害額 55万円

(11月までに7830万円)

死者 0 傷者 1

(11月までに死者5人
負傷者9人)



■ 富士警察署別館が完成

富士警察署の別館事務室が、さきごろ完成しました。別館は警察署本館の裏側車庫の上に増築していたものです。

別館には交通課のうち事故係、取締り係、規制係などで、免許証の書き換えや交付、富士交通安全協会の事務はこれまでどおり本館で受付けています

【写真は別館で事務をはじめた交通課】

■ 3389人が成人に

今年の成人者は3389人（男1884人、女1505人）
1月15日、富士見高校体育館で成人式を行ないました。式には雨にもかかわらず2300人の成人者が出席し盛大に行なわれました。



■ センターポールの供養祭

交差点でドライバーに注意を呼びかけているセンターポール。自動車にぶつけられたりひかれたりして昨年1年間に40本もこわれてしまいました。このセンターポールの供養祭をさきごろ富士川河川敷で行ないました。

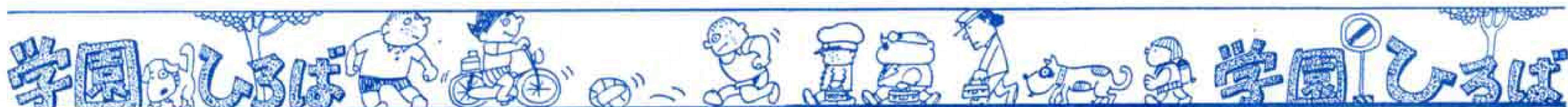
＝丸火自然公園＝

富士見ヶ池にコイ2000尾放流

大井川町の渋谷昇次町長から、さきごろひごいや錦ごいなど2000尾が富士市に贈られました。市では、さつそく丸火の自然公園内の富士見ヶ池に放流しました。このコイは、大井川町の町営養鯉場で育てられたもので、15歳から20歳の立派なひごい、錦ごいです。

【写真は富士見ヶ池にコイを放流する渡辺市長】





体育館ができた！

東小学校6年 杉山隆子

富士市の東はしにある私達の東小学校にも、待望の体育館が完成しました。

最初考えたことは、今でもせまく感じている運動場に体育館ができると、なおせまくなってしまうと心配していました。

体育館建設工事が始まり、毎日ゴツトンゴツトンと、うるさくてたまらないし、そのうちに南側の田んぼのうめたてを始めた。

ブルトナーのやかましい音や木などを燃すけむりが教室の中に入り授業がやりにくかった。そんな授業を続けていた私達でも完成した時はとてもうれしかった。

ただ残念なことは、六年生の教室の日あたりが悪くなつたことと、私達は三月には卒業してしまうことです。使用期間は短いけれど、新しい体育館が使えると思うと、本当にうれしく思います。



体育館は鉄骨平家建てで、広さは778平方メートル、昨年の7月から工事を進めていました。体育館の中には体育室のほか会議室や料理室、和室などもあります。なお、東小に体育館が完成したので18小学校のうち体育館のない小学校は3校となりました。残りの3校にもできるだけ早く建設していきます。

【神戸小学校区】 太郎坊で雪遊び



神戸小学校区では冬休みの1月6日お父さんお母さんとつしよに富士山の太郎坊で「親子雪中大会」を行ないました。あいにく、いい天気が続いたので雪はあまりありませんでしたが、雪だるまをつくつたり、スノーボードやスキーをして1日楽しくすごしていました。



市内の公園の
広さは……

ぶらんこやすべり台のある公園。
自然をいかした公園。公園といつても目的や環境によつてずいぶん造りがちがうんだ。みんなの家の近くにはどんな公園があるかな——。

市内にある公園は、吉原公園や平塚公園のような都市公園が18カ所、丸火の自然公園などがあるんだ。このほか公園の中に入らないけれど児童遊園地が120カ所もあるよ。中でも1番大きいのは丸火自然公園で、100畝もあるんだ。

ところで都市公園は、みんなが遊んだり散歩したりするだけでなく、地震や火災などの時に避難する場所としても必要なんだ。そのためにも市民1人当たり3平方メートルの広さを目標に整備しているんだ。現在の総面積は14.59％で、1人当たり0.76平方メートルにすぎないんだ。だけど、昭和50年には富士川河口の緑地公園や総合運動公園の一部ができて、総面積100％となり、1人当たり4.8平方メートルにする予定なんだ。



衝突事故を防いだ渡辺君

静岡鉄道管理局から表彰

連絡しました。

連絡を受けた駅では上り電車を臨時停車させたり、となりの入山瀬駅へ連絡して電車の発車を遅らせるなどしました。このため衝突事故をまぬがれ、大きな災害が未然に防止されました。

なお、静岡鉄道管理局では裕正君の事故を未然に防いだ功績をたたえて、さきごろ表彰を行ないました。

鷹岡小学校6年生の渡辺裕正君は、昨年の11月30日、身延線富士根駅の南200mの地点、旧吉原踏切内でトラックが事故を起して停車しているのを発見しました。そこで裕正君は、電車が来れば衝突し大事故が起きると判断し、すぐ踏切の非常ボタンを押して、近くの富士根駅に

